

## 第1章 「教育に活用されている馬」

### 教育

一人の教師の熱い思いから始まり、その思いが引き継がれる教育活動

ウエスタン牧場

フォーシー・ランチ



### 活動の概要

一人の小学校教師の志を継ぎ、地域の小学校等と連携を図りながら、乗馬活動を通して健全な身体と心を伸ばしていこうと活動する民間の乗馬施設である。

唐津市大良小学校の教師であった吉田孚（まこと）氏が教諭時代に、動物とのふれあい教育の重要性に関心を持ち、学校教育の余暇時間に一個人の思いから、ポニーふれあい活動を開始したのが平成9年。当初はうさぎ、鶏、山羊、羊などでのふれあいを行っていたが、子どもの興味が長続きせず、ポニーを取り入れることで手応えを感じた。当初は事故等を心配する声もあったが、「安全と衛生面に注意すること」を説明し、活動を続けるうちに評判となり認められていった。退職後も活動を続けていたが、その後、地元の乗馬クラブであるウエスタン牧場フォーシーランチ経営の宮崎一也氏と宮崎久美子氏（カウンセラー）と出会い、吉田氏の志が受け継がれ、平成24年から形を替えてふれあい教育が続けられている。

子どもが長期的に馬とつきあう場を作り、信頼関係を築き、子どもたちに思いやりの心を育ててもらおうと、活動に意欲を燃やしている。また、発達障害者や健常児の親への教育から始まり、健全な体と心を伸ばしていこうとしている活動を行っている。

えさやりなどの世話の体験や乗馬で馬に気持ちを伝え、馬がそれを感じ取ることで互に通じ合う喜びを味わってもらうことなど、情操教育に主眼をおいたふれあい体験教育に力が注がれている。

#### 1. 小学校出前乗馬ふれあい教室

市内の小学校30校にポニーを運び、ふれあい巡回教育に出動している。毎年4月に、希望のあった小学校との間で出前の日時の調整や打ち合わせを行っている。

市の生涯学習文化財課から1回13,000円/校の助成を受ける。

#### 2. 放課後ふれあい乗馬教室

週2日、大良小学校の児童1～3年生15人を受け入れる（会費3,200円/月）。

#### 3. ポニー乗馬教室（2013年10月から）

小学生向けに、ふれあい乗馬を発展させた乗馬やえさやり、掃除などやや本格的に行う乗馬教室（入会金10,000円、月13,000円）。ポニー2頭で、現在10数人前後が活動中。

#### 4. その他

ポニー出張やふれあい体験教室を要請のあった保育園、幼稚園、障害者施設、公民館、子どもクラブ、学級活動などに年40カ所程度行っている（料金20,000～50,000円）。

## 活動体制

カウンセラー(全米NLPプラクティショナー、NLP心理セラピスト、魔法の質問キッズインストラクター)の資格を有す宮崎久美子氏と乗馬専門家である宮崎一也氏(他)が協働して活動を行っている。

通常の乗馬クラブの営業として、クォーターホース9頭、ポニー2頭を用いて乗馬スクールを行っている。その他、心理カウンセリングと乗馬を組み合わせたセラピーも行っている(料金:カウンセリング5,000円、乗馬3,000円(15分))。

## 施設の概要

出張活動は各小学校の校庭などで行われるため、施設の必要はないが、馬運車が必要。

乗馬クラブ自体は広い敷地内にクラブハウス、厩舎、馬場がゆったりと配置されており、訪れる人々がほっとする癒しの空間となっている。



## 背景(地域連携、展望等)

特別支援学校の児童に対して月に1回程度のふれあいでも、次第に良い効果が得られると期待されているため、地域の教育機関や福祉施設等との一層有機的な連携が期待される。

ポニーが小型のため、活動が小学校低学年に限られてしまっている。障害者乗馬のインストラクター資格を取った方が医療的知識の面や、事故などの場合にも安心との認識があり、本格的に講習会を受講して認定資格を取得したい希望がある。

ふれあい乗馬体験やセラピー活動を広域に進める上での安定した経済的支援が十分とはいえないが、こうした学校教育の中の体験学習として認知されていることは、地域貢献として大いに評価される。



〒847-0111 佐賀県唐津市佐志 2706

(URL) <http://karatsu-city.net/4c-ranch/>

(TEL) 0955-74-7972